

構え・四戒・鍛錬・稽古・武士道

剣の構

剣ハ遠山ヲ望ガゴトク 手ノ内ハ生卵ヲ握ルガゴトク
腕ハ赤子ヲ抱クガゴトク 足ハ水鳥ノ泳グガゴトク
打ツ太刀ハ濡レ手拭ヲ絞ルガゴトク 一刀一断

剣の四戒

驚^{きょう} (オドロキ) 懼^く (オソレ) 疑^ぎ (ウタガイ) 惑^{わく} (トマドイ)

鍛錬

一 眼 二 足 三 胆 四 技

稽古

足で攻め 腰で抜き 腰で打ち 腰で納る事
刀を使うな 刀に使われよ
敵に付けた切っ先は引くな
切らないなら振りかぶるな 被ったら蠅を叩くように素早く打て
努々^{ゆめゆめ}油断あるまじき事

武士道 (勇・忍・忠・孝・和と言うことも有る)

仁=思いやり・仁愛 義=人として行なう道 礼=社会秩序を正す
智=理解し判断するか 信=誠・嘘を言わない (孔子・儒教五常)

【儒教では礼節信義勇敢仁】・【神道では忍耐・無心・不動心】

武士の信条

武道に於いて遅れとりまじき事
主君の御用に立つべき事
親に孝行仕るべき事
大慈悲をおこし人のためになるべく候事